

令和2年2月20日(木)

保護者 各位

## 新型コロナウイルス感染症への対応について

森村学園中部部・高等部  
校長 江川 昭夫

今年度もあと一月を残すばかりとなりました。新型肺炎をめぐる報道を通じ、各ご家庭でもさまざまな対策を講じておられることと思います。

未だ収束の見込みが立たない状況に際し、保護者の皆様に感染症防止に向けた情報をお伝えいたします。

また、今後の状況によっては、学校として緊急の措置をとることもありますので、あらかじめご承知置きください。

### ■新型コロナウイルス感染症とは

ウイルス性の風邪の一種です。

**発熱やのどの痛み、せきが長引く(1週間前後)ことが多く、強いだるさ(倦怠感)を訴える人が多いことが特徴です。**

感染から発症までの潜伏期間は1日～12.5日(多くは5～6日)といわれています。ウイルスの感染経路は、次の2つとされています。

- 飛沫感染**：感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つばなど)と一緒にウイルスが放出され、他の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染する。
- 接触感染**：感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつく。他の人がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染する。

重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されているので注意してください。特にご高齢の人や基礎疾患のある人は重症化しやすい可能性が考えられます。

### ■日常生活で気をつけること

#### ・手洗い

～まずは手洗いが大切です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

#### ・咳エチケット

～咳などの症状のある人は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の人に病気をうつす可能性がありますので、咳エチケットを行ってください。

#### ・人混みを避ける

～持病がある人、ご高齢の人はできるだけ人混みの多い場所を避けるなど、より一層注意してください。

★ 発熱等の風邪の症状が見られるときは、学校を休んでください。

★ 発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録してください。

## ■ 次のような人は要注意です

次の症状がある人は「帰国者・接触者相談センター」に相談してください。

- 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている  
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含む。)
- 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

※高齢者や基礎疾患のある人は、上の状態が2日程度続く場合

上記センターで相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」を紹介しています。

「帰国者・接触者相談センター」はすべての都道府県で設置しています。詳しくは以下の URL から確認できます。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusha.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyasessyokusha.html)

## ■ 一般的な問合せ先はこちらです

その他、自身の症状に不安がある場合など、一般的な問合せについては、次の窓口に相談してください。

厚生労働省相談窓口 電話番号 0120-565653 (フリーダイヤル)  
受付時間 9:00 ~ 21:00 (土日・祝日も実施)

聴覚に障害のある方をはじめ、電話での相談が難しい人 FAX 03-3595-2756

## ■ 学校からのお願いです

1. 次に該当する事態が生じた場合は、必ず学校にご連絡願います。
  - お子様または同居の家族の方が、新型コロナウイルス感染症と診断された場合
  - お子様に上記の症状が見られるなど、感染症の疑いがある場合  
(お近くの医療機関(保健所)などに相談された場合)
2. 緊急の休校措置をとる場合を想定して、教科書等はできるだけ持ち帰るなど、非常の事態に備えておいてください。
3. 医療従事者や患者に対して、いじめや偏見を助長するような心ない言葉や態度を慎むよう、ご家庭でもご指導をよろしく願いいたします。